

養父市長 故 佐々木憲二 氏 追悼式



故人を偲んで献花をする参列者

佐々木憲二市長が急逝 ご冥福をお祈りいたします

11月6日から病氣療養をされていた佐々木憲二養父市長（57歳、八鹿町浅間）が、12月17日午後10時2分に入院先の神戸市内の病院において、肝不全のためご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

病氣療養の経過

故佐々木憲二養父市長は、昨年5月16日の養父市長選挙において当選され、同日に養父市長に就任。平成の大合併・兵庫県下第1号の養父市初代市長として「地域個性の醸成」「情報公開」「市民の参画と協働」を市政運営の根幹に養父市のまちづくりを進められました。

10月20日に養父市を襲い、大災害となった台風23号における被災者復興対策の指揮をとっておられました。この頃から「食事がのどを通らない」と胃の変調を訴えられ、11月6日に神戸市内の病院に入院されました。病院での検査の結果、広範性びらん性胃炎と診断され、その後の検査では腸閉塞の併発が判明。12月に2回の手術を受けられ、

市長職務復帰に向けて療養を続けておられました。

しかし、12月17日夜に容体が急変され、同日午後10時2分、肝不全のため同病院でお亡くなりになりました。



市役所に初登庁する佐々木市長（昨年5月16日）